

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術会議

早期の分けつ確保は、品質の良い米づくりにつながります。活着後は浅水管理によって田水温を高め、分けつ（新しい茎）の発生を促しましょう。

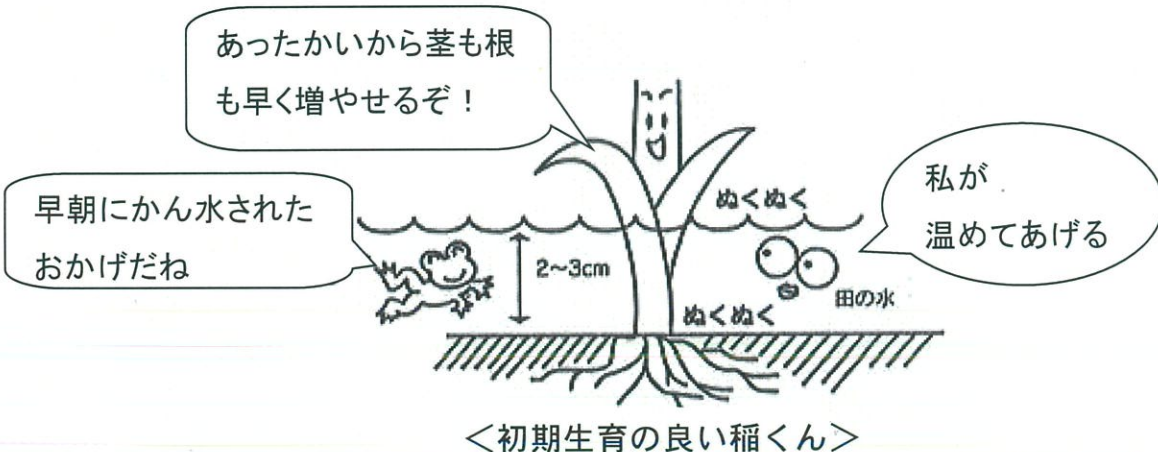
昼夜の水温の差が大きいと、分けつの発生が促進されます。

また、田植後4週間までに中干しを開始するため、田植時期の早いほ場から溝掘りを始めましょう。

1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。
- 入水は朝または夕方に行い、日中は止め水にして水温を高め、分けつ（新しい茎）の発生を促し、太い茎を確保しましょう。
- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入れ替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。
- 軽い田干しは、風の穏やかな温かい日に実施しましょう。
 - ・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
 - ・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に

- × ちう干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすくなるため、厳禁です。
- × 深水管理は、水温が上がらず、苗が伸び過ぎて軟弱になってしまいます。

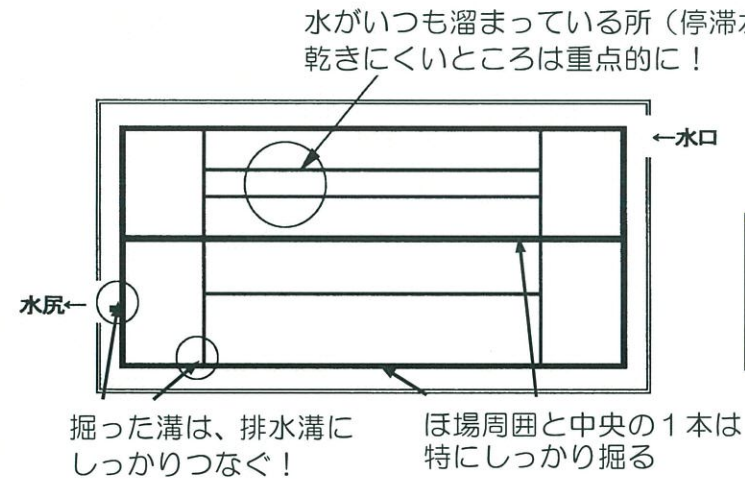


間ざし苗は、いもち病発生のもと！ すぐに処分しましょう!!

春の農作業安全運動展開中！ 4月1日~5月31日

2. 溝掘り

- 中干しの効果を高めるため、6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。
 - 〔 設置の目安は『額縁』+『5m程度の間隔に1本』。 〕
 - 〔 “水の溜まっているところ” や “乾きにくいところ” を重点的に。 〕
- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。



ほ場全体の排水を図り、中干しの効果を高めよう!!

3. 中期除草剤の使用のポイント

薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
アクシズMX 1キロ粒剤	田植後 20日～ (ノビエ4葉期まで) 収穫 45日前まで	1kg/10a	・田植7日後から使用できますが、 <u>薬害を回避するため、移植20日後から使用</u> してください。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。
テッケン ジャンボ	田植後 15日～ (ノビエ4葉期まで) 収穫 60日前まで	500g(10パック) /10a	・水深6cm以上の深水状態にして、ほ場にパックを均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。

※「やまだわら」には、上記の中期除草剤は使用しないでください(薬害の発生)。
中期除草剤を「やまだわら」に散布する場合は、地区担当の営農指導員に相談してください。

- 散布前に、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょ。
- 散布後に大雨が予想される場合は使用を避ける。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかかけ流しはやめましょ。

除草効果を高めるため、適期散布を行うとともに、湛水状態を保ちましょ

農薬の散布に当たっては、隣接ほ場などへの飛散防止に努めましょ。